

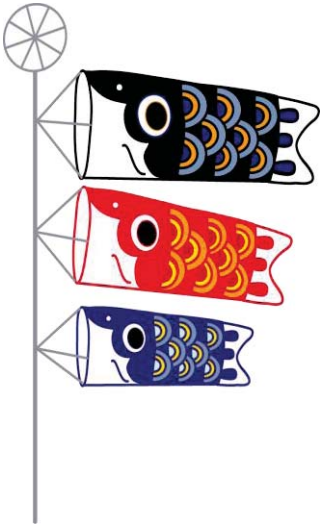
福岡県立図書館 青少年と暮らしの交流室

5月のおすすめ本

学校が舞台の本

新学期が始まって一か月がたちました。あっという間の
一か月だったという人が多いのではないのでしょうか。
新しいクラス、学校には慣れましたか？

今回は学校に関する本を集めてみました。



すべて貸出できます
貸出中の本は予約できます



『名前探しの放課後』上・下

辻村深月/著

講談社

F/ン 75/2

突然三カ月前の世界にタイムスリップしてしまった
依田いつか。記憶に残っているのは三ヶ月後の世界で
起こった同級生の自殺。しかし誰が自殺するのかとい
う詳細はいつかの記憶からは抜け落ちていた。自分は
自殺を止めるために過去に来たのか？これから起こる
誰かの自殺を止めるため、いつかは同級生の坂崎あす
ならと放課後の名前探しを始める。様々なことに悩み
ながらも友達のために自分にできる精一杯のことをし
ようとする彼らの熱い思いに胸を打たれます。

物語の冒頭部から積み重なっていく小さな違和感が
最後に物語をひっくり返し、パズルのピースがきれい
にはまるようなラストは圧巻です。気持ちよくだまさ
れながら読んでみてください。

この作者の本は、本同士がリンクしていることでも
有名。この本にも他の小説の登場人物が出てきます。
それを探しながら読むのも楽しいですよ。



『こんなに厳しい！』

世界の校則』

二階宮/監修

メディア・ファクトリー

375/2/159

生徒手帳などにびっしりと書かれている校則。ちゃんと目を通したことはありませんか？「日本の校則は厳しい！」そんな風に思ったことはありませんか？しかし、世界の国々を見渡してみると、もっと厳しい校則、さらには私たちから見ると、「どうしてそんな決まりがあるの？」と思うような不思議な校則が数多く存在します。

例えば「マイナスイース80以上の日は外で遊ぶこと」(目的は子どもの耐寒機能を高めること)「フィンランド」や、「雪合戦をしてはならない」(日本の雪より硬く、投げると危険だから)「ドイツ」、さらには「先生が近くを通ったら、おじぎ、または胸に両手を合わせて尊敬の意を表する」(タイは礼儀を重んじる仏教の国です)「(タイ) などなど。

校則を通してそれぞれの国の思想や事情だけでなく日本の常識の奇妙さも見えてくる一冊です。



『京大芸人』

菅広文<著

講談社

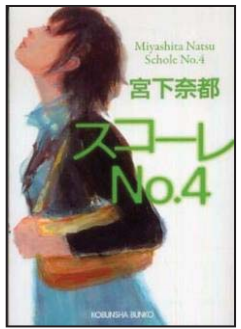
F/ス82/1

作者は京大芸人としてクイズ番組等で活躍しているロザンの宇治原君の相棒。高校の時に出会った二人がいかにして友だちになり、お笑い芸人を目指すようになり、そして宇治原君は難関の京都大学に入学したのか。そんな二人の高校時代と大学時代をまとめた小説です。

芸人になった時に売りになるから、という理由で京大を目指すことを勧めた菅君、高校時代から成績優秀で、医者でも弁護士でも目指せたであろうに、あっさりそれを受け入れた宇治原君はどちらもかなり大物小説として面白いのはもちろんですが、高性能勉強ロボというあだ名をつけられた宇治原君のストイックな勉強っぷりには頭が下がります。

京大芸人・宇治原が出来るまでを描いた『京大少年』もおすすりめです。





『スコール no.4』

宮下奈都/著

光文社

F/III/193/2

古道具屋を営む両親のもとに生まれた津川麻子は奔放な妹と比べて自分は平凡だと思っている三姉妹の長女。そんな彼女も、中学・高校・大学・就職という四つのスコール（学校）で様々な人と出会い、多くの経験をすることで次第に変わっていく。

後書きによると、スコールとはスクールの語源になった言葉で、真理探究のための空間的場所という意味を持っているそうです。

この本は麻子が少女から女性へと成長していく様子を四つのスコールという過程を通して丁寧に、綺麗な文章で描いています。今自分がしていることは無駄なんじゃないだろうか、と毎日に焦ってしまうこともあるかもしれませんが、しかし遠回りに思えた日々さえも大切に思える日がきくと来ます。こんな時にあんな風に感じた事があつたな、と思えるような文章にきくと出会えるはず。



『ランウェイ☆ビート』

maha/著

宝島社

F/ハ/175/1

一人のイケメン転校生、溝呂木美系（あだ名はジート！）によって平凡だった主人公や友達の高校生活はがらりと変わった。天才的なデザイナーの才能を持つビートは、ファッションになんて興味がなかったはずの主人公やビートによってイメチェンしたクラスの元いじめられっ子を巻き込んでファッションブランドを立ち上げ、さらにはファッションショーまで企画してしまう。「誰にでもポテンシャルはあるー」というビートの言葉に勇気づけられ、ひたむきに前に進んでいく主人公たち。しかしそこに有名デザイナーであるビートの父親や様々な思惑を持った大人たちが関わってきて……。

2011年3月には映画化もされた、読むと元気になれる小説です。

これ以外にも学校に関する本を集めて展示しています。ぜひご利用ください。

学校が舞台の本

No.	資料ID	書名情報	著者名	出版者	出版年	請求記号
1	1106457514	The MANZAI	あさの/あつこ 作	ジャイブ	2007. 3	F ア195 7-1
2	1107039370	高校生活100のアドバイス	東海林/明 著	岩波書店	2009. 2	081 42-614
3	1107503060	小学校教師になるには	森川/輝紀 編著	ぺりかん社	2010. 3	366 29 92-29
4	1106990096	RDG	荻原/規子 [著]	角川書店	2008. 7	F オ271 1
5	1106774365	学校の世界地図	小川/真理子 著	大月書店	2004. 10	372 59
6	1107016218	学び舎は血を招く	竹本/健治 [ほか 著]	講談社	2008. 11	913 68 324-1
7	1107955664	こんなに厳しい!世界の校則	二宮/皓 監修	メディアファクトリー	2011. 6	375 2 159
8	1106655832	名前探しの放課後 下	辻村/深月 著	講談社	2007. 12	F ツ75 2
9	1106655820	名前探しの放課後 上	辻村/深月 著	講談社	2007. 12	F ツ75 2
10	1105523185	赤川次郎ミステリーコレクション 10	赤川/次郎 作	岩崎書店	2003. 3	913 アカ S
11	1106580580	ランウェイ☆ビート	maha 著	宝島社	2008. 1	F ハ175 1
12	1107518175	市立第二中学校2年C組	柳月/美智子 著	講談社	2010. 8	F ヤ153 7
13	1107010456	京大芸人	菅/広文 著	講談社	2008. 10	F ス82 1
14	1107015949	12人の悩める中学生	木堂/椎 [著]	角川書店	2008. 7	F コ131 2
15	1107553154	旧校舎の黄金書	日向/理恵子 作・ 画	岩崎書店	2011. 2	F ヒ117 1

学校が舞台の本

16	1107461691	文化祭オクロック	竹内/真 著	東京創元社	2009. 7	F タ262 6
17	1107552707	こころ	七瀬/晶 [著]	角川書店	2011. 3	F ナ241 1
18	1107476301	スコーレNo. 4	宮下/奈都 著	光文社	2009. 11	F ミ193 2
19	1106559321	飛ぶ教室	ケストナー 著	光文社	2006. 9	F K12 7
20	1106499157	ピーターパン・エンド ロール	日日日 著	新風舎	2006. 9	F ア227 1
21	1106755974	15歳からの大学選び トレンド業種志望編	石渡/嶺司 著	小学館	2005. 4	376 8 180
22	1107553673	アイスプリンセス 1	リンダ・チャップ マン 作	アスキー・メ ディアワークス	2011. 2	F C320 1-1
23	1107010518	中学時代にしておく50 のこと	中谷/彰宏 著	PHP研究所	2008. 11	159 7 138
24	1107469888	高校時代にしておく50 のこと	中谷/彰宏 著	PHP研究所	2009. 10	159 7 146
25	1107979892	高校時代に考えておく 50のこと 女子編	有川/真由美 著	PHP研究所	2011. 12	159 7 168
26	1106204278	底辺女子高生	豊島/ミホ [著]	幻冬舎	2006. 8	914 6 6220
27	1106993585	吉野北高校図書委員会	山本/渚 著	メディアファク トリー	2008. 8	F ヤ181 1-1
28	1106451485	14歳の本棚 初恋友情 編	北上/次郎 編	新潮社	2007. 4	913 68 285
29	1106288818	王国は星空の下	篠田/真由美 作	理論社	2007. 3	913 シタ
30	1106427446	スパイガール	アリー・カーター 作	理論社	2006. 10	F C256 1